

活力ある福祉社会を創る！

～コロナ後の福祉社会を考える～



オンライン開催

とき
令和3年
10月23日 土

講演時間
13:00～16:30

参加無料

事前のお申し込みが必要です

お申し込み用QRコード

第一部 基調講演 13:05～14:05

「持続可能性の条件としての社会保障・社会福祉」

講師

せいけ あつし
清家 篤氏
日本私立学校振興・共済事業団理事長、
全国社会福祉協議会会長



社会の持続可能性は、それを支える人材にかかっています。
とくに少子高齢化のもとで労働力人口の減少する日本では、高齢者や女性の就労促進は必須です。
そのために大切なのは健康寿命延伸、子育て支援、介護負担軽減などであり、
社会保障制度改革国民会議の提言に沿った方策は中長期的にも有効です。
社会保障・社会福祉の充実は経済成長の結果であると同時に、これからの少子高齢社会では経済成長の原動力ともなるものです。

第二部 地域の声から 14:10～16:30

「地域で障がいのある子どもたちを支える」

講師

きたがわ さとこ
北川 聡子氏
社会福祉法人麦の子会理事長・総合施設長



～むぎのこの取り組みとコロナ禍での子どもたち～
「子どもを育てるには、村中の大人の知恵と力と愛が必要です。」これは、アフリカの諺です。
今あらためて「すべての子どもは社会の宝物」という考え方で、子どもをみんなで育てていくことが求められています。
障がいのある子どもも、ない子どもも、社会的養護の必要な子どもも、そしてコロナ禍での子どもと家族と共に
沢山の人が力を合わせて一緒に育ちあうむぎのこの取り組みを紹介したいと思います。

「広がる発達障がい者支援から見えたひきこもりの現状」

講師

にしお だいすけ
西尾 大輔氏
札幌市自閉症・発達障がい者支援センター
おがる センター長



～本人、家族、支援者へのアンケート調査から～
今日では発達障がい者支援は障がい福祉にとどまらず身近な地域生活に広がりを見せています。
はるにれの里では、発達障がいの特性のある方のひきこもりについて、
本人、家族、支援者の方々のご協力をいただき現状を調査しました。
その中で今後の課題やひきこもりの予防についてが見えてきましたのでご報告したいと思います。

「他者の苦しみへの責任と共有」

講師

むかいやち いくよし
向谷地 生良氏
北海道医療大学教授 社会福祉法人べてるの家理事長



～弱く、小さく、遠いところに生きる人たちに学ぶ～
私は40年来、北海道浦河町でメンタルヘルスの危機を経験し、
社会の表舞台からの離脱を余儀なくされた人々と起業し、活動を続けてきました。
そこで学んだことは「自分の苦勞を地域の苦勞に、地域の苦勞を自分の苦勞に」という「苦勞の循環」を起こすことです。
コロナ禍にあって、大切なのは、社会の中で「弱く、小さく、遠いところ」で生きている人たちの経験に学び、
そこに内在する痛みへの共感と責任を私たちが取り戻し、活かしていくことなのです。

・主催 / 北海道社会福祉フォーラム 2021 実行委員会 (社会福祉法人ノマド福祉会・社会福祉法人はるにれの里・社会福祉法人浦河べてるの家・社会福祉法人藻岩この実会)
・共催 / 株式会社メディカルシステムネットワーク
・後援 / 北海道厚生局、北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道市長会、北海道町村会、北海道社会福祉協議会、
北海道民生委員児童委員連盟、札幌市社会福祉協議会、札幌市民生委員児童委員協議会、北海道新聞社、藤女子大学 QOL 研究所

今年の「社会福祉フォーラム」は、開催方法が変わります。

新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、今年は、**オンラインによる開催**に変更します。視聴するには、スマートフォン・タブレット・パソコンが必要です。(ZOOM を使用します) 視聴にかかる通信費は各自のご負担となります。

申込・参加までの流れ

- ① スマートフォン・タブレット・PC よりお申込みください。

スマホ・タブレット



左記のQRコードをスマホやタブレットのカメラで読み取ってください。

パソコン

下記よりお申込みいただけます。

<https://hokkaido-forum.com>

- ② お申込みの後、事務局よりフォーラム専用 URL をメールにて発行します。メールが届かない場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。
- ③ 当日、お時間になりましたら、フォーラム専用 URL にアクセスし、ご参加ください。

講師のご紹介

講師	せいけ あつし 清家 篤氏
	(日本私立学校振興・共済事業団理事長/全国社会福祉協議会会長) 2009～2017 慶應義塾長 2017～ 慶應義塾学事顧問 2018～ 日本私立学校振興・共済事業団理事長 2019～ 全国社会福祉協議会会長
講師	きたがわ さとこ 北川 聡子氏
	(社会福祉法人麦の子会理事長・総合施設長) 1983 麦の子学園(現 社会福祉法人麦の子会)開設 2004～ 社会福祉法人麦の子会総合施設長 2012～ むぎのご児童発達支援センター長(管理者) 2021～ 社会福祉法人麦の子会理事長
講師	にしお だいすけ 西尾 大輔氏
	(札幌市自閉症・発達障がい者支援センターおがるセンター長) 2001～2004 北海道札幌養護学校教諭 2004～2011 北海道紋別養護学校ひまわり学園分校 研究部長 2011～ 札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがるセンター長
講師	むかはやち いくよし 向谷地 生良氏
	(北海道医療大学教授/社会福祉法人浦河べてるの家理事) 1978～2003 浦河赤十字病院医療社会事業部ソーシャルワーカー 1984 浦河べてるの家発足 2003～ 北海道医療大学看護福祉学部教授及び同大学院看護福祉学研究科教授

お申込み締切日：令和3年10月15日(金) 先着順ですのお早めにお申込みください。

FAX でお申込の方は必要事項をご記入のうえ、この用紙を送信してください。

URL 発行のため必ずメールアドレスをご記載ください。FAX 番号 011-558-7062

フリガナ		メールアドレス	
氏名		電話番号	() -
ご住所 〒		勤務先・学校名	
		参加人数	名
手話通訳希望の有無		希望する	希望しない

株式会社 メディカルシステムネットワーク **フォーラム事務局**
〒060-0010 札幌市中央区北10条西24丁目3番地 AKK ビル 3F
●電話によるお問い合わせ・受付時間 / 平日 9:00～17:00
●担当/桑田、片倉、坂本

個人情報の取扱いについて
※ 個人情報は徹底した管理を行い、本フォーラム以外には使用しないことを固くお約束いたします。

TEL 011-558-7061

✉ forum@msnw.co.jp